

平成16事業年度

決 算 報 告 書

自：平成16年4月 1日

至：平成17年3月31日

国立大学法人東京農工大学

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 東京農工大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,492	6,492	0	
施設整備費補助金	36	36	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	10	29	19 (注1)	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	3,582	3,879	297	
授業料及び入学金及び検定料収入	3,403	3,631	228 (注2)	
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	179	248	69 (注3)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,262	2,000	262 (注4)	
長期借入金収入	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	12,382	12,436	54	
支出				
業務費	10,074	9,772	302 (注5)	
教育研究経費	7,814	7,224	590	
診療経費	0	0	0	
一般管理費	2,260	2,548	288	
施設整備費	36	36	0	
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,262	1,925	337 (注6)	
長期借入金償還金	10	29	19 (注7)	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	12,382	11,762	620	
収入 - 支出	0	674	674	

予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備資金貸付金償還時補助金収入については、平成13年度に国が貸付決定をした無利子貸付金の償還について、平成16年度の当初予算のほかに、補正予算により繰り上げ償還のための予算が措置されたことに伴い、平成16年度中に全額償還することとなったことから、予算額に比して決算金額が19百万円多額になっています。
- (注2) 授業料及び入学金及び検定料収入の予算と決算の差異については、当初見込んだ在籍者数を上回ったことから授業料収入の決算金額が予算金額に比して202百万円多額となっていることが主たる要因です。
- (注3) 雑収入の予算と決算の差異については、家畜病院の患者数の増加により家畜病院収入の決算金額が予算金額に比して59百万円多額となっていることが主たる要因です。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の予算と決算の差異については、共同研究の目標額を過去の受入実績伸び率により算定したものの目標額に至らなかったことから、共同研究収入の決算金額が予算金額に比して335百万円少額となっていることが主たる要因です。
- (注5) 業務費の予算と決算の差異については、雇用実績が雇用計画を下回ったことにより人件費の決算金額が予算金額に比して203百万円少額となっていることが主たる要因です。
- (注6) 注4に示した理由により、予算金額に比して決算金額が448百万円少額となっています。
- (注7) 注1に示した理由により、予算金額に比して決算金額が19百万円多額となっています。